

九州歯科大学歯学部歯学科の卒業コンピテンシー

1. 歯科医療人としての素養

【到達目標】

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に豊かな教養、人間性、学識を有し、全人的歯科保健医療を提供する基礎的能力を備えている。

【学修成果】

1. 社会人及び医療人として共通に持つべき教養を身につける。
2. 信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解する。
3. 良好な患者・歯科医師関係を築くために必要な医療面接の基本的な態度、知識及び技術を身につける。
4. 歯科医師法及び関連法規の基本的な考え方を理解する。
5. 保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療及び社会環境を理解する。
6. 環境と健康との関わりを理解する。
7. 歯科医学・医療・科学技術の進歩と社会の変化やワーク・ライフ・バランスに留意して、歯科医師としてのキャリアを継続させる生涯学習者としての能力を身につける。

【学修内容】

大学における学修技術・態度を修得し、全人的歯科保健医療を提供するための基礎的能力を学ぶ。

【学修方法】

教養系科目の履修を通して、社会科学、人文科学、自然科学、語学などのリベラルアーツ教育を軸に人間形成を目指した教育を展開する。あわせて、医療コミュニケーション能力や歯科医療に関する社会制度を学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で学修成果を評価する。

2. プロフェッショナリズム

【到達目標】

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に歯科医療人として必要な倫理観及び責任感を有し、患者中心の歯科保健医療を実践するための基礎的能力を備えている。

【学修成果】

1. 患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。
2. 医療、歯科医療及び医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。
3. 歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度及び考え方を身につける。
4. 患者本位の医療を実践するため、適切な説明を行った上で、患者の主體的な同意を得るために必要な対話能力と態度及び考え方を身につける。

【学修内容】

歯科医師としての社会的役割に加え、必要な倫理観及び責任感を学ぶ。

【学修方法】

能動的学びを通して、患者中心の歯科保健医療を学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で評価する。

3. 歯科医学の専門的知識

【到達目標】

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に歯科医師として求められる歯科医学及び歯科医療に関する知識を歯科保健医療活動において応用する能力を備えている。

【学修成果】

1. 歯科医療における安全性への配慮と危機管理を理解する。
2. 健康の概念、健康と社会・環境、予防と健康管理、疫学・保健医療統計を理解する。
3. 生命の分子的基盤、人体の構造と機能、感染と免疫、病因と病態、生体と薬物を理解する。
4. 素材と器械・器具の所要性質、成形法と成形用材料を理解する。
5. 診療の基本、口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、ならびにそれらの歯科医療への展開を理解する。

【学修内容】

歯科医師として求められる歯科医学に関する知識・技術・態度を学ぶ。

【学修方法】

体系的に設定された「基礎系科目」、「臨床系科目」を通して、知識・技術・態度を学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で評価する。

4. 科学的根拠に基づく歯科医療の実践

【到達目標】

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するための能力を備えている。

【学修成果】

1. 科学的根拠に基づいた歯科医療の考え方及び重要性を理解する。
2. 診療の疑問を解決するために必要な科学的情報を適切に収集・解釈する能力を身につける。
3. 確率論的なものの見方を理解し、確率変数とその分布、統計的推測を理解する。
4. 科学的根拠に基づいた歯科治療の予後を適切に評価する態度を身につける。
5. 生命科学や歯科保健医療について生涯を通じて学び、病因や病態を解明するなどのリサーチマインドを身につける。
6. リサーチマインドを駆使して、生涯にわたり歯科保健医療の発展に貢献するための基本的態度を身につける。

【学修内容】

科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために必要な知識・技術・態度を学ぶ。

【学修方法】

科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために必要な知識・技術・態度及び疫学・統計学的手法について学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で評価する。

5. 全ての世代に対する幅広い歯科医療の実践

【到達目標】

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に全ての世代に対して全身の健康という視点に立った歯科医療活動ができる基礎的臨床実践能力を備えている。

【学修成果】

1. 歯科診療において必要な医療安全・感染予防についての知識、技術及び態度を身につける。
2. 歯科診療を実施するために必要な患者の全身状態を把握する全身管理の基本的な知識、技術及び態度を身につける。
3. 口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的な知識、技術及び態度を身につける。
4. 良好な患者-歯科医師関係を築くとともに、患者の情報を聴取し、口腔・顎顔面領域の基本的な診察をするための知識、技術及び態度を身につける。
5. 診断に必要な検査を選択するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
6. 科学的な根拠に基づく診断ならびに治療計画を立てるための知識、技術及び態度を身につける。
7. 歯及び歯周疾患の治療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
8. 歯の欠損ならびに咀嚼障害の治療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
9. 口腔・顎・顔面領域の疾患の治療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
10. 矯正治療に先立ち、診査、診断ならびに治療計画立案を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
11. 小児の口腔疾患の治療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
12. 有病・高齢者及び障がい者の口腔疾患の治療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。
13. 歯科診療に必要な医療管理に関する基本的な知識、技術及び態度を身につける。
14. 歯科医療を通じて多職種医療人とともに地域包括医療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につける。

【学修内容】

全身の健康増進の視点に立った歯科医療を実践するために必要な知識・技術・態度を学ぶ。

【学修方法】

臨床実習を通して実際に患者本位の医療を実践・見学し、歯科医療に必要な知識・技術・態度を学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で評価する。

6. 多職種連携の実践

【到達目標】

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に多職種と連携し、歯科医療を通じて地域社会に貢献する基礎的能力を備えている。

【学修成果】

1. 患者中心のチーム医療ならびに他の医療従事者との連携の重要性を理解する。
2. 歯科診療を適切に行うために、地域医療、病診連携についての知識、技術及び態度を身につける。
3. 在宅歯科診療を適切に実施するために必要な基本的知識を身につける。
4. 地域包括医療において歯科医療の果たす役割、及び連携に関する知識、技術、態度を身につける。

【学修内容】

多職種との連携した歯科医療の実践に必要な知識・技術・態度を学ぶ。

【学修方法】

隣接医学の科目及び医科臨床実習を通して、多くの医療従事者との連携に必要な知識・技術・態度を学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で評価する。

7. グローバルマインド**【到達目標】**

九州歯科大学歯学部歯学科学生は、卒業時に国際的な視野に立った歯科医療活動を行う基礎的能力を備えている。

【学修成果】

1. 英語を用いて歯科医学に関する国際的な情報を収集・読解する能力を身につける。
2. 第一外国語としての英語を用いてコミュニケーションをとることができる。
3. 第二外国語について基本的な読解力を身につける。

【学修内容】

英語による歯学に関する国際的な情報を収集・読解する能力と社会構造や歯科医療の国際比較し、保健、医療に関する国際的課題や国際社会への貢献の意義を学ぶ。

【学修方法】

本学と連携協定を締結している海外の歯科大学・歯学部において講義・実習の見学ならびに国際文化交流を体験し、国際的視野と国際的コミュニケーション能力を学修する。

【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている評価方法で評価する。